書籍紹介

『タバコ規制をめぐる法と政策』
田中 謙 著　日本評論社　2014年

タバコ規制をめぐる法律問題について，解釈論，立法論を展開するとともに，行政的規制についても検討する．2015年「日本公共政策学会著作賞」受賞．

「『喫煙の自由』と『非喫煙者の権利』は，相反する主張をしているのか？」「タバコ問題は，『マナー』で解決できる問題なのか？」「健康被害という実害を防止するための行政的規制は正当化できないのか？」「『公共スペース』を『全面禁煙』とすることは『喫煙の自由』に反するのか？」「タバコ会社では，消費者に対して『正確な情報』が提供されているのか？」このような問いについても回答を提示する．

●主な目次

序章　本書の射程とタバコの特徴
第1章　「喫煙の自由」と「非喫煙者の権利」
第2章　タバコ問題の特徴とタバコ規制の必要性
第3章　タバコ規制の法システム
第4章　タバコ訴訟
第5章　タバコ規制をめぐる今後の法制的課題

『出生前診断―出産ジャーナリストが見つめた現状と未来』
河合 蘭 著　朝日新書　2015年

次々に登場してきた胎児診断技術．検査を受けるか否か．結果をどう受けとめるか．晩産化が進み，産科医療も進歩するなかで，多くの女性たちが重い問いに対峙し，葛藤している．体験者の生の声，医療関係者の賛否両論に迫る．著者は写真家を経て1986年から出産関連分野を取材してきたジャーナリスト．「本書が，社会の中で出生前診断についての対話を拓くための助けになったらうれしい」（あとがきより）．

●主な目次

第1章　動き出した次世代の検査
第2章　女性たちの出生前診断体験
第3章　「羊水検査」で出生前診断は始まった―ある医師の語りを中心に
第4章　1990年代「母体血清マーカー検査」をめぐる混乱
第5章　超音波検査とグローバリゼーションの波
第6章　これからの出生前診断

©IGAKU-SHOIN Ltd. 2015